

7/13  
(水)

## 手話奉仕員養成講座を開講 手話で会話する喜びを



講師のまねをしながら学ぶ受講生ら

7月13日、町開発総合センターで令和4年度手話奉仕員養成講座の開講式がありました。

式では役場福祉事務所や出水地区聴覚障害者協会から受講生へ、手話で会話する喜びや心地よさを感じてほしいとあいさつが述べられました。

式後、第1回目の講座が開かれ、参加した13人の受講生らは講師のまねをしながら学びを深めていました。

参加した梶涼馬さん(本町)は「以前から手話に興味があった。これから手話を学んで、積極的に使っていけたら」と意気込みを話しました。

7/16  
(土)

## 新フェリー『ロザリオ・カーム』 就航に向けて進水



無事に進水した『ロザリオ・カーム』

7月16日、長崎県佐世保市で長島町諸浦港と片側港、天草市新和町中田港を結ぶ新しいフェリーの命名・進水式が行われました。

当日は天長フェリー株式会社や天草市長、造船業者の前畑造船株式会社などの関係者ら30人が参加。式では天長フェリーの波戸正和代表取締役が、新フェリーを『ロザリオ・カーム』と力強く命名しました。

波戸代表は「船が進水した時は感無量だった。船の完成を楽しみにしながら、就航の準備を進めていきたい」と話しました。

新フェリー『ロザリオ・カーム』は、令和5年2月から就航する予定です。

7/16  
(土)

## 子ども食堂を開催 楽しく交流できる場

7月16日、蔵之元自治公民館で子ども食堂が行われました。

これは長島町ひとり親寡婦福祉会の主催で、多くの制約が強いられる中、子どもたちの健やかな成長のために、大切に楽しく食事をとってもらうことを目的に実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、弁当の配布となりましたが、子どもから高齢者まで多くのかたが訪れていました。

同会会長の坂口静子さん(蔵之元)は「初めての

主催したひとり親寡婦福祉会の会員ら



取り組みで話し合いを重ねながら準備を進めてきた。お年寄りや若者、子どもたちみんなで楽しく交流できる場として広がれば」と語りました。